



6月は環境月間です

問合せ先 環境衛生課 ☎072・433・7186

地球に優しい生活を

- まちを美しく
・空きカンやたばこのポイ捨てはやめましょう
- ・ペットのフンは飼主が責任をもつて後始末をしましょう
- ・家のまわりや空き地の美化に努めましょう



- 地球温暖化の防止
・夏の冷房は28度を目安に温度設定を行い、軽装を心がけましょう
- ・テレビ、エアコン、照明の不要なつけっぱなしはやめましょう
- ・入浴は追いだきをしないうように間隔をあけずに入り、シャワーは節水を心がけましょう
- ・冷蔵庫は季節ごとに温度調節をし、物を詰め込み過ぎないようにしましょう

- プラスチックごみの削減
・エコバッグを活用し、なるべく買物袋はもらわないようにしましょう
- 空気をきれいに
・徒歩、自転車、公共交通機関を利用しましょう
- ・車使用时には急発進、カラぶかし、不要なアイドリングはやめましょう
- ・野焼きはやめましょう (特例を除き法律で禁止されています)



- 水辺をきれいに
・食用廃油は、ぼろ布などにしみ込ませ燃えるごみに出しましょう
- ・流しや三角コーナーに水切り袋をつけ、細かなくずを流さないようにしましょう
- ・洗剤や柔軟剤は適量を使用しましょう (ID21850)

環境家計簿をつけてみませんか

環境家計簿は、環境衛生課で配布または市ホームページからダウンロードできます。(ID21843)

光化学スモッグに注意

光化学スモッグ予報・注意報が発令されると、健康被害の未然防止のため、防災無線にて発令の放送が行っています。発令情報は、府大気汚染常時監視のホームページで閲覧できます。

発令されたら

- ・自動車の使用を控えましょう
- ・屋外での運動を避け、屋内へ入りましょう
- ・目やのどに痛みを感じたら、洗眼やうがいをして安静にしましょう
- ・症状がひどい場合は受診しましょう (ID1383)



無料不妊手術チケット

「(公財)どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業」で市が受け取ったチケットを、市内のボランティア団体に交付し利用していただく事業を始めます。詳しくはお問合せください。

- 対象
① 飼い主のいない猫に不妊手術を施し、地域猫活動を行うことができる団体
- ② 多頭飼育崩壊現場で猫に不妊手術を施す団体
- ただし、多頭飼育者本人および親族を含む団体は除く
- ※団体の半数以上が市内在住であること
- ※初めて申請される団体は団体規約・団体名簿・団体の身分証明書・活動実績などが必須

第1回締切 6月28日(金) 問合せ先 環境衛生課 ☎072・433・7186



風しん予防接種費用を助成

風しん(または麻疹)風しん混合ワクチン予防接種費用を市が負担します。詳しくはお問合せください。

- 対象
接種時に市に住民登録があり、風しん抗体検査で抗体価が低いと判定された、次のいずれかに該当する方
- ① 妊娠を希望する女性
- ② 妊娠を希望する女性の配偶者
- ③ 妊娠中の女性の配偶者

風しん抗体検査・予防接種クーポン券

風しん抗体検査と予防接種を無料で受けられます。対象者には市からクーポン券を送付します。詳しくはお問合せください。

- 対象
① 抗体検査…昭和37年4月2日～54年4月1日生まれの男性
- ② 予防接種…①のうち、平成26年4月以降に抗体検査を受けた結果、抗体価が国の定める基準より低いと判定された方
- クーポン券の送付
・昭和47年4月2日～54年4月1日生まれの…6月中旬に送付
- ・昭和37年4月2日～47年4月1日生まれの…47年度に送付(ただし今年度発行も可、要申請)
- 実施期間 令和4年3月31日まで
- 問合せ先 健康推進課 ☎072・433・7000

インプラント治療とは

歯の治療方法の1つで、人工の歯根をあごの骨に手術で埋め込み、その上に冠や義歯を固定して物を噛めるようにするインプラント。既によく知られるようになり、治療を受けられる方も多くなりましたが、大きな問題点があることがわかってきました。

インプラントは、清掃などの手入れをきちんと行ない、適正に使っているうちは、失なった自分の歯が蘇ったように噛めるというすぐれた機能を発揮します。しかし、インプラント治療を受けた人が寝たきりなど介護が必要な状態になって、万が一インプラントが壊れてしまったら大変なことになります。

一部が壊れた場合は、残った部分が噛み合う歯や歯肉を傷つけ障害が起こります。根の部分が壊れたり、清掃が不十分で感染した場合はそれを外さなければならないのですが、介護の必要な方はそれが難しくなります。

インプラント治療は、歯科医師からの説明を十分に聞き、ご自身で理解して治療にのぞむことが大切です。

貝塚市歯科医師会

「脂肪肝」、そのまま放置していませんか?

健康診断などで脂肪肝を指摘されても、軽い病気と考えて放置している方はいませんか?

脂肪肝は肝臓に中性脂肪が蓄積する病気ですが、最近、重症タイプの非アルコール性脂肪肝炎(NASH)があり、放置すると肝硬変や肝細胞がんへと進行することがわかってきました。やっかいなのは、病状が進行してはじめて自覚症状があらわれることと、特効薬といえるような治療薬がまだないことです。

日本人の脂肪肝の原因は、アルコールの飲み過ぎよりもおしる食べ過ぎです。治療のための食生活というと、まず脂っこいものを減らすことを考えがちですが、それ以上に気をつけたいのは糖質です。日常的に糖質をとり過ぎていると、脂肪肝になりやすくなることわかっています。もちろん、アルコール摂取量が多い場合には適量に減らしてください。適度な運動をして減量することも治療につながります。

健康診断などで脂肪肝を指摘されたときには、無症状であっても放置せずに診察を受け、血液検査や肝臓の超音波検査などを受けてください。

問合せ先 貝塚市医師会 ☎072-423-4130



肺がんとは

肺がんは、早期はほぼ無症状です。がんの進行とともに、咳、痰、血痰(血が混じった痰)、発熱などの呼吸器症状が現れます。しかし、これらは肺がん特有のものではないため、他の呼吸器疾患と区別がつかないこともあります。また、がんが進行してもほぼ無症状で、胸部エックス線検査などの検診で見られることもあります。

肺がんは、喫煙との関連が非常に大きいがんです。たばこを吸わない人に比べ、吸う人が肺がんになるリスクは男性で4.4倍、女性で2.8倍と非常に高くなります。喫煙歴のある40歳以上の方は、症状がみられない場合でも特に注意が必要ですので、定期的に肺がん検診を受けましょう。

また、たばこを吸わない人でも、周囲に流れるたばこの煙を吸うこと(受動喫煙)により、肺がんを発症する危険性が高まることもわかっています。たばこを吸わない妊婦でも、受動喫煙によって低出生体重児の発生率が上昇したり、子どもの喘息や気管支炎を引き起こすなどの研究報告もあります。周りの人の健康を守るため、受動喫煙のない環境づくりにご協力をお願いします。

問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000

